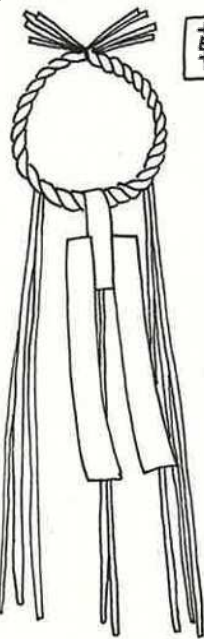
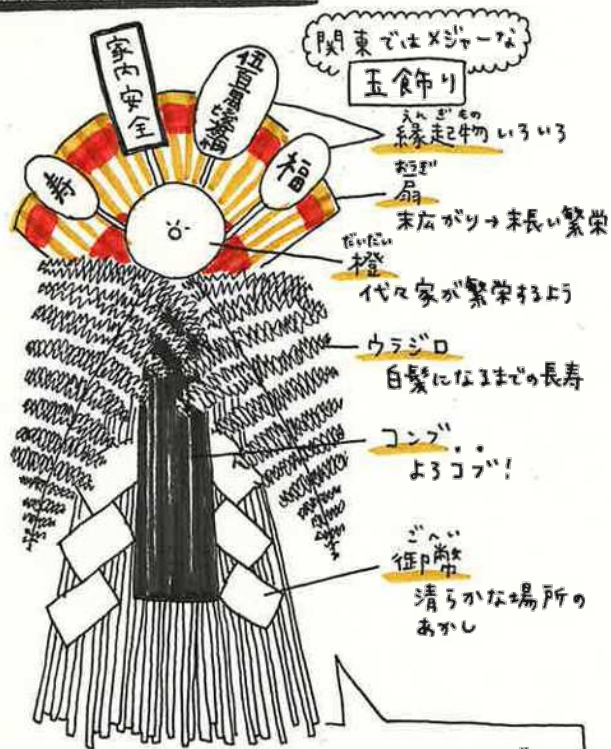




— 歳神様をお迎えするし、しめ飾り —

さあ 間もなく 新年です! この一年を振り返りつつ、新しい年を迎える準備は整いましたか? お正月を迎えるに当たり、どうしても欠かせないのが「しめ飾り」です。新しい年になると「歳神様」と呼ばれる神がやってきます。一年の内、決まった時期にだけ来てくれる来訪神の一種です。来訪神は異界からこの世にやって来ます。私たちが彼らを迎え入れ、雇待(めやくちやおもてなし)しなければいけません。そうすれば彼らに喜び、福や豊穡をもたうしてくるからです。めで! 新年限定でこの世に降りてこられる歳神様に「どうぞー! この家、入ってくださーい!」の目印に飾るのが、「しめかざり」なのです。家に来てくれないとてなすこともできませんから。大セカ



車輪じめ

しめ飾り、実はせ方に
よって 結構 形がちがいます。

昨年初めての妙義でのお正月を迎える時、いろいろと驚いたなあ。まずビックリしたのは「五食り」と呼ばれるしめ飾りの豪華さ!! (豪華ゆえにお値段もそれなり...なので、一般家庭ではあまり飾られないもよう) イラストは面倒で簡略化しちゃいましたが、本当はもっとエビとかタイとか縁起物がついてる。スガ、作り物の

妙義、関東でしめ飾りといえどこの形。ほへー 年のいた奈良とはずいぶんちがう! めちゃくちゃ豪華!!! ちなみに奈良はこんな形だよ。



あとは「車輪じめ」。これは完全に初めて見ました。「五食り」はまだちょっと私の生まれ故郷、岡山のものに似ているのですが(岡山も縦長スタイルのしめ飾り)、え? ワジメ? 何コレ? どこにどうやって飾るの?? と困惑しました。これは玄関に飾る場合、本松とセットで飾るもので、この車輪、かを本松の枝に通して玄関の両側に飾るのだとか。へー ちなみに奈良では似たようなおんじで五葉松・梅の枝・熊笹を半紙で巻いて水引で糸引で糸引だもの「花」と呼んで家の全ての出入口の両側に飾るよ。あ、家だけじゃなくてお地蔵さんや祠、仏壇、お墓もみーんな。(神仏もご先祖さんも一気におめでたモードになつてウチウチ!) 車輪じめも本来は台所とか井戸、トイレなどいろんな所に飾ったとか。どっこも火の神、水の神のいろいろする場所だわ!

右上で説明した「五食り」を簡略化したものだから。上を車輪、かにしてあるのは、
[円形 = 終わりが無い] という
この象徴などのこと、無限の繁栄や家族の団結を表して
るんだって! WA-WA-WAAA!

日本の神さまは目に見えません。でも、私たちの生活のすぐそばにいらっしやる。気がかぬうちに、いろんなものをくださる。だから日本人は食事の前後に手を合わせ、鳥居をくぐる時は頭も下げ、お米はゴミ箱に捨てられない。あなたのお家に、歳神様は来て下さいましたか? 拝 フー